

R元年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

Table with 5 columns: 施設名称, 所在地, 指定管理者名, 利用料金制適用区分, 選定方法, 指定期間 (開始日, 終了日), 設置目的, 主な実施事業等.

2 利用実績

Table with 6 columns: 利用区分等, 単位, 予定(計画・目標), 利用実績, 対前年度比, 増減の理由等.

3 事業収支

(千円)

Table with 5 columns: 事業計画, 事業報告(実績), (参考)前年度実績, 収入計, 支出計, 事業収支, 利用率比率.

補足説明(必要に応じて記入)
レストラン事業について、平成30年9月より自主事業から社会福祉法人青葉仁会占用事業へ変更。事業報告(実績)には占用事業の実績は含みません。

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

Table with 2 columns: 意見内容等, 対応実績等. Includes implementation methods like '利用者アンケート' and '意見箱の設置'.

5 管理運営状況評価

<p>施設の設置目的の達成（有効性）</p>	
<p>施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>公園の活性化を目的として植栽管理エリアを拡大した。こちらの管理業務は障がい者就労の場とした。加えて、清掃業務の一部についても障がい者就労に移行することができ、施設設置目的である障がい者就労人数目標値の達成にまた一歩近づくことができた。</p>
<p>市の評価</p>	<p>公園の活性化と障がい者就労の場として山麓公園を活用することの2つの目的を達成するために管理運営を工夫することができた。今後も創意工夫を凝らした公園の活用方法の提案を求める。</p>
<p>市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>浴場を中心に、マナー違反に起因して平等な利用が妨げられるケースが度々みられたため、掲示物の設置や巡回により、利用マナーの改善に努めた。平成30年度に続き、申込者多数となる土日祝日のテニスコートの利用や生駒市委託キャンプ事業については、抽選会にて利用者を決定し、公平性を維持した。</p>
<p>市の評価</p>	<p>近年、利用者同士のトラブルに起因した施設運営へのご意見が見受けられる。運営状況を適切に把握し利用者の公平感を損なわないよう、施設管理者として根拠に基づく対応をすること。</p>
<p>利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>お客様からのいただいたご意見の内、備品等の物品の追加設置については、予算や費用対効果を考慮した上で、可能な限り要望に沿う形で対応した。ルールの変更に際のご要望については、平等・公平な利用を妨げないか、利用者全般の利便性向上につながるかといった観点から慎重に検討し、対応にあたった。</p>
<p>市の評価</p>	<p>物品の購入については引き続き、費用対効果や必要性を十分に検討した上で対応すること。また、施設の運用ルールは法令等を遵守し、特定の利用者の利益にならないように設定すること。</p>
<p>経費の縮減等の効果（効率性）</p>	
<p>経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>清掃委託業者より、賃金や物価変動に伴う値上げの要求があった。現契約業者以外の3社から見積を取得するとともに、委託内容についても見直しを行い、経費の上昇を必要最低限に抑えた。清掃委託費で経費増となった部分を相殺すべく、消耗品や浚渫作業の経費削減をはかり、指定管理料内で業務を遂行できるよう努めた。</p>
<p>市の評価</p>	<p>公園の現況に即した作業を行うため、必要に応じて市と協議しながら管理運営を進めること。経費縮減のため、今後も物品の調達時や業務の一部を外部委託する際は内容を十分精査した上で行うこと。</p>
<p>収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>野外活動センターにおいて、7月に利用料金の値上げを実施した。単に値上げしただけでは、利用者離れに繋がると考え、サービスの向上やWEBサイトを主軸として告知の強化を行った。その結果、客数をそれほど減少させずに、客単価を上げることができた。</p>
<p>市の評価</p>	<p>指定管理事業、自主事業に関わらず公園の魅力を向上し、利用促進につながるよう情報発信に努めること。今後は新型コロナウイルス感染拡大防止に関して、安心・安全に公園が利用できるよう施設運営が求められるため、十分な対策を講じた上で施設の安全性を周知してもらいたい。</p>
<p>適正な施設の管理運営（適正性）</p>	
<p>施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>園内の一部除草作業は指定管理者自らが実施しているが、スタッフの「刈払機の安全衛生教育」の受講を進め、より多くのスタッフが作業に従事できるようにし、安定的に景観を維持できる体制を整えた。広報活動については、団体利用者向けにDM発送を中心とした営業活動を行い、新規顧客の獲得や、休眠顧客を掘り出すことに力を入れた。</p>
<p>市の評価</p>	<p>生駒山麓公園の自然豊かな景観は魅力の一つであり、障がい者就労の充実と合わせて園内の植栽管理業務に注力してもらいたい。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、安全に公園利用が促進できるように管理体制を整えた上で、積極的な広報活動を行うこと。</p>
<p>自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>より多くの市民にアウトドア・アクティビティ（ツリーイング、秘密基地作り等）を提供できるよう、フィールドアスレチック東側の森林部を新たに自主事業エリアとし、整備を進めた。いこいの広場付近には当初計画にあったクライミング体験用のモバイルウォールを設置し、新たな集客の柱として、令和2年度より本格的に運用していく。また、新たな支払方法として、野外活動センターにおけるクレジットカード決済を開始し、お客様の利便性の向上をはかった。</p>
<p>市の評価</p>	<p>創意工夫を凝らした自主事業を通じて、公園全体の魅力が向上するように取り組んでもらいたい。新型コロナウイルスの拡大を受けた新しい生活様式にも対応するイベント開催を期待したい。</p>

	<p>安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）</p> <p>指定管理者による自己評価</p> <p>施設総括責任者や生駒市担当課、指定管理者の構成団体本部等からなる緊急連絡体制を構築し、事故や自然災害発生時に、即座に判断・対応ができるようにした。</p> <p>市の評価</p> <p>近年、自然災害や感染症などが多く発生している。自己評価に記載しているとおり、発生時に迅速に対応できるよう事前準備を適切に行うこと。</p>
	<p>サービスの安定的な提供（安定性）</p> <p>事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）</p> <p>指定管理者による自己評価</p> <p>利用料金の値上げをしたことで、野外活動センターの売上が増加し、設備投資回収の目処も立ったかに見えたが、1月半ばより深刻化した新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用キャンセルが相次ぎ、それ以降事業収支としては厳しい状況が続いた。利用者が安心して利用できるような環境を整えることで、利用者数の回復をはかり、事業の安定的な継続につなげたい。</p> <p>市の評価</p> <p>野外活動センター以外の施設についても、今後も利用の自粛が予想される。新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、利用ニーズに合わせて施設運営を行うこと。</p>
	<p>社会福祉施設に準じた評価</p>
	<p>施設の設置目的の達成（有効性）</p> <p>施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）</p> <p>指定管理者による自己評価</p> <p>公園内整備等業務や花苗栽培及び植栽、レストラン業務、厨房内での調理業務また、アスレチック受付等を通じ、障がいのある方それぞれの状況にあった福祉支援を提供している。これらの業務を通じて工賃を得ることで、働くことに対する意識化を高めるとともに、企業就労に向けた訓練機会を得るなど、積極的な社会生活が営める機会となっている。</p> <p>市の評価</p> <p>山麓公園の障害福祉サービス利用者の自立支援、社会参加促進に向け、個々の状況にあわせた多様な支援を実施していただき、工賃向上の努力をされていることについては高く評価している。今後も引き続き、新たな支援の方法を検討し、生駒市民の利用者の増加や地域貢献等に努められたい。</p> <p>利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）</p> <p>指定管理者による自己評価</p> <p>利用者個人がいきいきと活動し役割を獲得する状況に対し、保護者や福祉関係者からも就労支援や福祉的な対応について満足の声をいただいている。このような評価や事業所からの情報発信により、相談機関や特別支援学校、また個人から多くの新規利用希望を頂戴するに至った。</p> <p>市の評価</p> <p>県内外の特別支援学校への案内や体験の受け入れ等、新規利用者獲得に向けた取り組みに力を入れていただいていることについては高く評価している。今後も引き続き、質の高い障害福祉サービスを提供できるよう努められたい。</p>
	<p>適正な施設の管理運営（適正性）</p>
	<p>施設の管理運営の実施状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）</p> <p>指定管理者による自己評価</p> <p>充実した福祉支援の提供のために、法定職員配置数以上の職員を配置し、きめ細やかな対応を心掛けている。また、職員の支援技術向上のために、外部研修や専門講師を招いた内部研修を積極的に行っている。地域との連携として、飲食提供品の一部に地元産の原料、加工品を使用したり、イベントを実施している。</p> <p>市の評価</p> <p>職員配置数の増加や研修等の充実を凶り、障害福祉サービスの質の向上に努めていただいていることについては高く評価している。今後も引き続き、築き上げてこられた地域との連携をより充実できるよう努められたい。</p>
	<p>安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）</p> <p>指定管理者による自己評価</p> <p>福祉サービス利用者の個人情報に関して、個人情報保護法に則った管理を徹底し、不備なく実施している。また、傷病等発生時について協力医療機関との連携や、新型コロナウイルスも含めた対応マニュアルを整備している他、これらの記録や運用する職員研修など実施している。</p> <p>市の評価</p> <p>個人情報の取扱については、生駒市個人情報保護条例等の規定を遵守し、適切な管理を実施していただいていることについては高く評価している。新型コロナウイルス感染症等、想定外のリスクにも対応できるよう、既存のマニュアルを適宜見直し、それに基づく定期的な研修・訓練等に努められたい。また、事故等の発生時には必ず記録を残し、迅速に市への報告を行われたい。</p>

6 指定管理者の財務の状況

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

(千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	4,265,557	3,903,696	4,007,909
流動資産	828,494	536,027	743,196
固定資産	3,437,063	3,367,668	3,264,713
負債	507,857	143,469	136,113
流動負債	507,857	143,469	136,113
固定負債	0	0	0
純資産	3,757,700	3,760,226	3,871,796
資本金	3,757,700	3,760,226	3,871,796
売上高	1,376,054	1,372,279	1,477,683
経常利益	-49,395	32,981	136,582

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自己資本比率 純資産/資産×100	88.1%	96.3%	96.6%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	13.5%	3.8%	3.5%
固定比率 固定資産/純資産×100	91.5%	89.6%	84.3%
流動比率 流動資産/流動負債×100	163.1%	373.6%	546.0%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	91.5%	89.6%	84.3%
総資産回転率 売上高/資産×100	32.3%	35.2%	36.9%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	-1.2%	0.8%	3.4%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

令和元年度に10年の指定期間の折返しを迎えた。施設運営の柱の一つである障がい者の就労の場の創出については、運営開始当初より事業継続しているレストラン事業に加えて、植栽管理、清掃業務と広がりを見せており、着実に前進していると感じている。令和2年度においては、植栽事業をさらに拡大するとともに、既存業務の障がい者就労への移行についても引き続き検討していきたい。もう一つの運営の柱であるアウトドアを用いた施設の活性化についても、当初計画にあったクライミングウォールの導入が実現し、施設に新たな魅力を付与することができた。しかしながら、クライミングウォールの設置およびクライミング体験会の開催について、まだまだお客様の認知度が低いため、公式ウェブサイトや広報誌への露出の機会を増やし、魅力を発信していくことで集客増につなげたい。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は厳しい時期が続くそうではあるが、感染防止策の継続および安心して利用できる施設としてPRをしていきたい。

市の評価

園内の植栽業務等について障がい者就労と連携して管理運営をすることができており、指定管理期間の折返しを迎えた中、より一層の創意工夫で、利用者の障がいの特性に合わせ、やりがいをもって活躍できる場を創出してもらいたい。

また、公園の活性化については、自主事業として樹林地をツリーイングなどで活用しているが、公園内には、十分な周知がされておらずその魅力が利用者に伝わっていない施設もある。クライミングウォール設置などの自主事業の取り組みと合わせて、それらの施設を活用し、生駒山麓公園の活性化に繋げることを。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ソーシャルディスタンスがとれる公園の利用を望む市民は増えているため、「生駒山麓公園は安全に利用できる公園」としてPRできるよう感染防止対策を十分に行い、誘客を進めること。